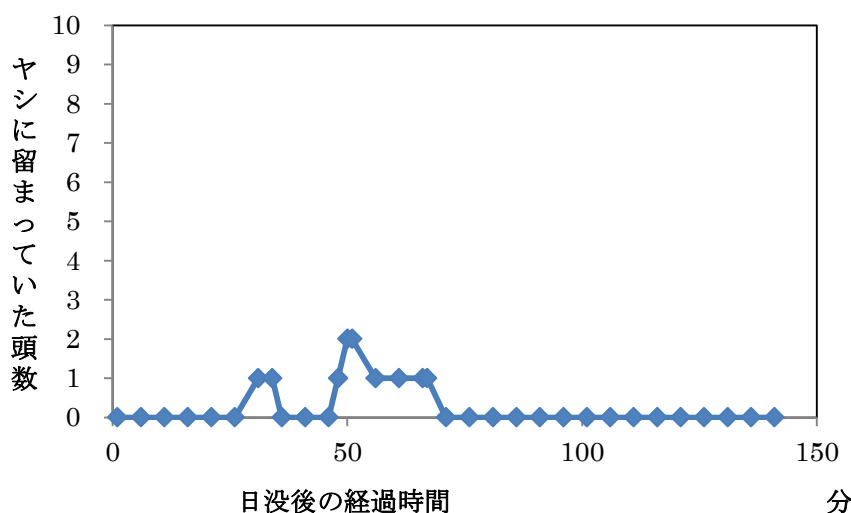


噴火では大変でしたが、われわれ島民や来島者にケガや被害がなかったのは幸いでした。立ち入り禁止の区域が決められたので、向江浜では、子ガメが海に脱出する季節なのですが、それも観察することが出来ません。「えらぶ年寄り組」の活動は大幅に制約されています。

エラブオオコウモリ 数が少なく、すこし心配です。

数名の島民の皆さんに手伝っていただき、8月31日の18:30から21:00まで、金岳小中学校校庭にあるワシントンヤシに飛来するエラブオオコウモリの止まっている頭数を計数しました。



今回、ヤシに止まったピークは、19:35(日没後50分)で、2頭でした。

2012年10月の計数では、ヤシに止まっていた頭数のピークは19:45(日没後105分)で、19頭でした。

どのくらいシカが増えているのか？

道路際のシカの頭数を計測しています。夜間、車をゆっくり走らせながら、投光器で、道の両側を照らして、見つけたシカの頭数を数える方法です。この方法では、シカの総数を推定できませんが、以前の結果と比べ、増減を知る目安とはなりそうです。

結果を、表1に示しました。表2は2012年の結果です。

表3は、2009年に屋久島まるごと保全協会(YOCA)が計数したものです。

西之湯への分岐から田代までの道では、今年の頭数密度(距離当たりの頭数)は、1 キロメートルあたり 20 頭、昨年は同じ道路で 4.6 頭で約 4.5 倍(表2)、2009 年では、6.8 頭と約 3 倍です(表3)。ここ数年大幅に増えていることが判ります。

この秋には、シカの糞の数を数えて、全島で何頭くらいのシカが生息しているのかを推定したいと、予定しています。

表1 2014 年 8 月 19 日の計測

月日	時間	コース	Km	頭数	密度 頭数/km
8 月 19 日	1930-2110	本村-田代	2.4	48	20.0
8 月 19 日	1930-2110	本村-田代(海岸)	3.3	30	9.1
8 月 19 日	1930-2110	本村-一番が峯分岐	3	2	0.7
8 月 19 日	1930-2110	本村一周道路	3	10	3.3

表2 2013 年の計測

月日	時間	コース	Km	頭数	密度 頭/km
3 月 21 日	1945-2000	本村-田代	2.4	11	4.6
3 月 21 日	2000-2015	本村-田代(海岸)	3.3	6	1.8
3 月 21 日	2020-2035	本村-一番が峯分岐	3	8	2.7
1 月 11 日	1930-2000	本村-田代	2.4	15	6.3
1 月 11 日	2000-2030	本村-田代(海岸)	3.3	18	5.5

表3 2009 年の屋久島まるごと保全協会(YOCA) の計数

月日	調査ルート	距離	頭数	密度 頭/km
8 月 28-29 日	本村-田代	3.1	21	6.8
8 月 28-29 日	本村-田代(海岸)	4.3	28	6.5
10 月 14-15 日	本村-一番が峯分岐	3	1	0.3
10 月 14-15 日	本村-田代	3.1	23	7.4
10 月 14-15 日	本村-田代(海岸)	4.3	17	4
10 月 14-15 日	本村-一番が峯分岐	3	0	0

出典:環境省委託調査「2009 年度 口永良部島における生息状況調査業務委託報告書」屋久島まるごと保全協会(YOCA)